

Chapter 1 経営はトップの考え方で決まる

経営者の持っている考え方によって、経営のすべてが決まってしまう。もし、経営がうまくいっていないとすれば、それは幹部が悪いのもなければ、従業員が悪いのでもありません。それはただ一つ、トップの考え方が間違っているからに他なりません。
— 稲盛 和夫 —

講話のポイント

1. 経営者の哲学と会社の業績はパラレルの関係

経営者は誰もが、自分の考え方なり人生観というものを持っている。その考え方は経営者それぞれに違う。その経営者の思い、考え方のすべてが会社の業績に反映され、会社の成否を決めている。

2. フィロソフィのベースは「人間として何が正しいのか」

「人間として何が正しいのか」という、基本的な倫理観を判断基準に経営することが、企業を成長発展に導く。そのような判断基準に基づいて、日々どのようにして経営や仕事にあたっていけばよいか、具体的な考え方と方法論をまとめあげたものが、「京セラフィロソフィ」である。

チェックシート〈基本的な倫理観で判断できているか〉

1. あなたの判断を、以下の基準でチェックしてみましょう

項目	判断の基準	判断の度合
正義	・私心が入り込んでいない、善なる動機である	できていない できている
公正	・法律やルールに準拠したものである ・社会通念から見て、賛同を得られるものである	できていない できている できていない できている
公平	・多方面から意見を聞いた上での判断となっている ・現地・現場の生の声を聞いた上で、事実を把握している ・情に流されることなく、本来の合理的判断となっている	できていない できている できていない できている できていない できている
誠実	・自社よりもお客様・社会の利便性や都合を優先している	できていない できている
謙虚	・一つの成功に甘んじることなく、高みを目指している	できていない できている
努力	・たとえ困難であっても、とるべき道を選んでいる ・目の前の利益だけではなく、将来を見据えたものである	できていない できている できていない できている
勇気	・誤りに気づいたら、すぐに正すことができる ・最後には自ら責任を取る覚悟がある	できていない できている できていない できている
博愛	・従業員の幸福と、人類・社会の発展を常に考えている	できていない できている

2. 上記チェックをして、気づいたことを整理して下さい。

Chapter 1
経営者の哲学と会社の業績はパラレルの関係

Chapter 2
経営者の哲学と会社の業績はパラレルの関係

Chapter 3
経営者の哲学と会社の業績はパラレルの関係

Chapter 4
経営者の哲学と会社の業績はパラレルの関係

Chapter 5
経営者の哲学と会社の業績はパラレルの関係